

ごみを減らそう

カラス対策とは、まず何よりもごみステーションに出すカラスの餌となる生ごみを減らすことです。

平成24年4月からごみと資源物の分け方・出し方が一部変わり、プラスチック製品や、汚れのとれないプラスチック製容器包装（ケチャップやマヨネーズのチューブなど）は、生ごみとともに燃やすごみに出すことになりました。

このため、カラスが主に狙うのは週に2回の燃やすごみです。燃やすごみの量が増えて、ネットで覆いきれないという声も聞かれます。

燃やすごみを少しでも減らすことが、カラス対策につながります。



まずは生ごみを減らそう

- 料理を作りすぎない。
- 食べ残しをしない。
- 必要以上の量は買わない。
- 生ごみの水切りをしたり、乾燥させたりする。
- 生ごみを堆肥化する。

生ごみの減量には、電動式生ごみ処理機や生ごみ処理容器の活用をおすすめいたします。また、購入助成制度がありますので、希望される場合は、生活環境課（TEL 781-5371）へご相談ください。

◆生ごみ減量・堆肥化容器購入費助成制度◆

- 容器の種類は電動式、コンポスト式、密封式容器、その他生ごみ減量・堆肥化ができる機器または容器とします。（ディスポージャー方式は対象外です。）
- 電動式の場合は**容器1基**まで、コンポスト式、密封式の場合は**容器2基**まで、その他の機器または容器の場合は**容器1基**まで補助対象になります。
- 密封式容器の購入と同時にEM菌等を購入される場合には、容器1基につきEM菌等1袋まで補助の対象に含めます。
- 補助額は、購入費の半額（ただし限度額は**20,000円**）です。

（例1）50,000円（税抜き）の電動式容器を1基購入する場合

$50,000円 \times 1基 \times 1/2 = 25,000円$ 25,000円 > 20,000円なので補助金額は20,000円となります。

☆実際の購入金額は $50,000円 \times 1基 \times 1.05$ （消費税） - 20,000円（補助金額） = 32,500円 となります。

（例2）4,000円（税抜き）の密封式容器を2基と500円（税抜き）のEM菌等を2袋購入する場合

$(4,000円 \times 2基 + 500円 \times 2袋) \times 1/2 = 4,500円$ 4,500円 < 20,000円なので補助金額は4,500円となります。

☆実際の購入金額は $(4,000円 \times 2基 + 500円 \times 2袋) \times 1.05$ （消費税） - 4,500円（補助金額） = 4,950円 となります。

簡単コンポストで生ごみ減量 ダンボールコンポストの作り方

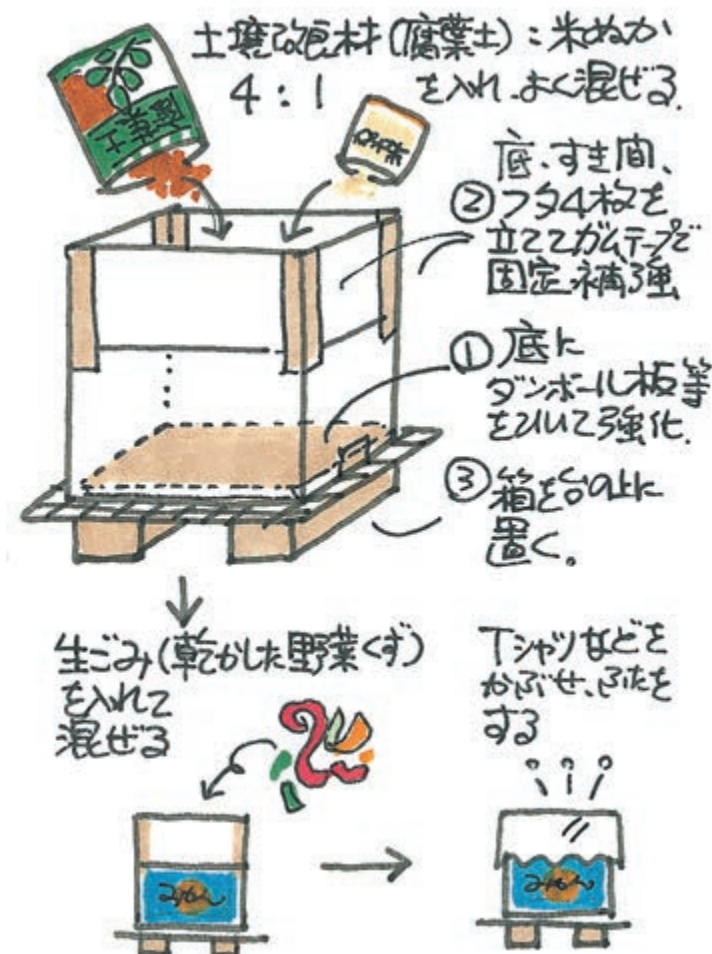
【用意するもの】

- ◎土壌改良材(腐葉土)
- ◎ダンボール箱 (みかん箱ぐらいの大きさ)
- ◎ダンボール板
(箱の底を二重にし、補強します。新聞紙2日分ぐらいでもOK)
- ◎ダンボール箱を乗せる台 (「瓶ビールケースや野菜苗ケースなどの底が網目になったもの」、「丈夫なかご」、「木片・ブロックに金網を乗せたもの」など、ダンボール箱の底の通気を良くします)
- ◎スコップ等 (混ぜるのに使います)
- ◎ダンボール箱のふた (通気性の良い布(古着のTシャツなど))
- ◎ガムテープ (箱を補強したり組み立てに使います)
- ◎米ぬか (生ごみの堆肥化を促進する効果があります)



【あれば良いもの】

- ◎はかり (ごみの重さを量ります)



【作り方】

- ①ダンボール箱の底にダンボール板(又は新聞紙)をひき、底を強化します。
- ②箱のすき間や底をガムテープで補強し、上のふたになっている4枚を立ててガムテープで固定し、深い箱にします(底が交互に折りこまれた組み立てである場合、底がぬけないように補強してください)。
- ③箱を台の上に置き、「土壌改良材(腐葉土)」と「米ぬか」を入れ、よく混ぜます。(土壌改良材と米ぬかの比率は4 : 1程度が適当です。)

これで準備完了!

あとは、1日500gを目安とした生ごみ(乾かした野菜くず)を入れてできるだけ毎日、下から良くかき混ぜます。

(コバエなどの進入・発生を防止するため、Tシャツなどをかぶせ、ふたをします。)

土と混ぜて約1ヵ月寝かせて堆肥として利用します。

生活環境課では、ダンボールコンポストの作り方についてもご相談に応じています。(TEL 781-5371)

燃やすごみから資源となるものを取り除こう

◎雑誌・雑多な紙を資源として出しましょう。

つい、燃やすごみに出してしまいがちな雑多な紙も資源になります。

自治会・子供会などの集団回収や、資源物の日（月2回水曜日）に古紙として出してください。

雑誌・雑多な紙にはこんなものがあります

小さなものでも大丈夫！燃やすごみに入れずに、ぜひ資源として出してください。



伊丹市では、♻️マークの付いている紙袋、包装紙はもちろんコピー紙やメモ用紙などの紙も「雑多な紙」として資源にしていますので、積極的にご協力いただきますようお願いします。

出し方

小さな紙は、雑誌にはさむか、封筒などにひとまとめにしてひもでしばって出してください。（紙ひもだとそのまま再生できるので理想的ですが、あまり売られていないため、ビニールひもでも結構です）

デパートなどの紙袋などに普段ためておいて、出すときにそのままひもでしばっていただくと便利です。

シュレッダーにかけた紙も資源です。
量が多ければ、無色透明、白色半透明の袋に入れてください。

